

全高長第11号  
令和3年4月28日

文部科学大臣 殿

全国高等学校長協会  
会長 萩原 聡

令和2年度の大学入学者選抜を終えて(要望)

全国高等学校長協会では、昨年10月上旬の「今年度の大学入学者選抜の実施状況の調査」に引き続き、新しい大学入試制度の下で、また新型コロナウイルス感染症まん延の中で、大学入学共通テストや一般選抜などが行われたことから、3月中旬に、全国の都道府県協会の会長を通じて大学入学者選抜の実施状況に関する調査を行いました。

全国の都道府県協会から、多岐にわたる意見が寄せられました。これをもとに、本協会として文部科学大臣あてに下記のとおり要望することとしました。文部科学省におかれましては、大学に対して必要な指導・助言を継続的に行っていただくとともに、次年度以降の大学入学者選抜の制度設計に生かしていただきますようお願いいたします。

記

- 1 貴省で定めた大学入学者選抜実施要項に示された日程等を順守するよう指導していただきたい。
- 2 感染症対策の観点から、共通テストの追試の会場を引き続き全都道府県に設けていただきたい。
- 3 コロナ禍の個別試験において、地方会場を増やしていくように大学に働きかけをしていただきたい。
- 4 新型コロナウイルス感染症に感染した受験生に対する救済措置が十全にとられるよう、大学を指導していただきたい。
- 5 新型コロナウイルス感染状況などにより入試方法等を変更した大学があったが、急な変更は受験生にとって不安となるため、周知方法等についての共通ルールを設定していただきたい。
- 6 新型コロナウイルス感染症への対応として、オンラインで入試を行う大学が増えてきているが、試験の公平・公正の確保や当日の通信トラブル等の事故対応などについて万全の体制で行われるように大学を指導していただきたい。